

大腸内視鏡検査についての説明ならびに同意書

検査名 : 下部消化管内視鏡検査

検査日 : 年 月 日 AM・PM 時 分から

大腸は走行が長く複雑で、さらに壁が薄いため、検査 前処置・内視鏡挿入・ポリープ切除術において疼痛や偶発症が発生する可能性があります。

【検査の目的】

この検査は、主に大腸がん・大腸ポリープの有無及び炎症や痔も調べる為に行う検査です。

【検査の内容】

肛門から、内視鏡を挿入し、診断を行います。検査中病変が見つかったり、疑わしい場合は必要に応じ以下の処置を追加する場合があります。

1. 病変の一部を鉗子でつまみ（生検）組織を採ったり、ポリープの切除をして詳しく調べます。保険診療として内視鏡検査を実施する場合の料金目安は下表のとおりとなります。当日は必ず保険証をご持参ください。

	健康保険 1 割負担	健康保険 2 割負担	健康保険 3 割負担
異常なし	約 1,800 円	約 3,600 円	約 5,400 円
組織検査あり	約 3,000 円～5,500 円	約 6,000 円～11,000 円	約 9,000 円～17,000 円
ポリープ切除	約 6,500 円～10,000 円	約 13,000 円～20,000 円	約 19,000 円～30,000 円

※上記に診察料は含まれておりません。

2. 病変に色素を散布し、診断の助けとする場合があります。
3. 苦痛が強い場合は、鎮痛剤や鎮静剤を使用することがあります。
4. 本同意書への同意後の日程変更は原則受け付けることは出来ませんので、再度受診をお願いします。
5. 診察状況により検査開始時間が前後することがございます。予めご了承ください。

【偶発症について】

偶発症としては、出血・穿孔などがあります。日本消化器病学会の全国集計では、観察だけの場合 1,000 件に 1 件、ポリープ切除の場合 500 件に 1 件の割合で偶発症が発生するとされており、そのうち穿孔は 2,000～5,000 件に 1 件の割合と報告されています。

その他に、前処置の薬剤によるアレルギー、鎮痛剤や鎮静剤による呼吸抑制や、検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）なども起こりうることもあります。

偶発症の程度や状況にもよりますが、場合によっては入院加療や外科的な手術（一時的な人工肛門造設術も含む）が必要になることもあります。

当院では、このような偶発症を回避するため、細心の注意を払い検査・治療を行っておりますが、可能性を完全に否定することはできません。

万一、偶発症が生じた場合、担当医師はその治療に全力であたらせて頂きます。

<担当医師 日本消化器内視鏡学会専門医 ・ 日本消化器病学会専門医>

医師 野中 雅也

年 月 日 説明医師サイン

上記の事柄について、説明を受け、十分理解しましたので、その実施に同意致します。

年 月 日

受診者署名

受診者代理人署名

(続柄 :)

※受診者（または親権者）の署名がある場合は不要

医療法人 誠恵会 のなか内科 Tel:048-641-8777